



江戸川区で一番の心のこもったあいさつのできる学校を目指します。

いま ここ

教育目標

「いま」「ここ」でがんばる生徒を育てる

- ◎ 健康で心豊かな人
- ◎ 自ら学び実行する人
- ◎ 協力し合い責任を持つ人



～10月15日 かつしかシンフォニーヒルズへ～

二之江中学校の二大行事の一つである合唱コンクールが、10月15日（木）に開催されます。

今年度のテーマは、

「伝説のユニゾン 心を一つに歌声を響かせ」。

今、各クラスでは、本番に向けて練習にも一段と熱が入ってきました。教室や廊下から聞こえてくる歌声からも、クラスみんなで一つの合唱を創り上げようとする思いが伝わってきます。

今年度は、江戸川区総合文化センターが改修工事のため使用できないことから、かつしかシンフォニーヒルズに変更して実施します。

かつしかシンフォニーヒルズは、音楽を響かせるために作られた本格的で素晴らしいホールです。ステージに立った時の広がり、客席からの雰囲気、そして何より、歌声がホールいっぱいに響き渡る感覚は、普段の学校生活ではなかなか味わうことのできない特別なものです。ぜひ、生徒たちにはこの素晴らしい舞台に立つ喜びを感じながら、思い切り歌ってほしいと思います。

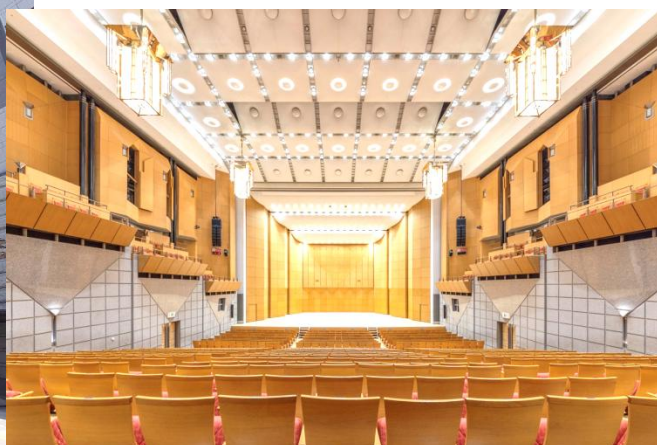
今年度、二之江中学校が大切にしているキーワードは、「自主自立」と「挑戦」です。今回の合唱コンクールでも、実行委員会を中心に、生徒たちが準備から当日の運営まで進めています。当日も現地まで班で行動し、自分たちの力で一つの行事を創り上げていきます。

合唱で目指すのは、単純に上手に歌うことだけではなく、一人ひとりの声が重なり、互いの声を聴き、励まし合ってクラス全員の心が一つになることだと思います。そのためにも失敗を恐れなくて、最後までクラスメイトと一緒に挑戦してほしいと思います。

平日の開催となりますが、運動会に引き続き、今回もライブ配信を行う予定です。会場に足を運ぶことが難しいご家族の皆様にも、できるだけ多く生徒たちの頑張る姿をご覧いただきたいと思っております。

10月15日、かつしかシンフォニーヒルズに二之江中学校の歌声を響かせます。

「伝説のユニゾン」を目指して挑戦する生徒たちに、ぜひ大きな声援を送っていただければと思います。



【かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール】

～修学旅行（石川・京都へ）～

9月28日（月）から30日（水）にかけて、石川、京都方面へ、2泊3日の修学旅行に行ってきました。

「集大成」……今回の修学旅行で実行委員を中心に学年で掲げたテーマです。三年間の中学校生活の中で、学年の仲間と築いてきた絆とこれまで身につけてきた力、そして一人ひとりの成長を、修学旅行という三日間の旅の中で存分に発揮してほしいという願いがこめられていました。

一日目は石川県、二日目からは京都府へ行きました。全国的に雨の日が続く中、二日目までは雨の中での活動となりましたが、最終日には青空が広がりました。

なにより素晴らしかったのは、大きな体調不良者を一人も出すことなく、全員が元気に三日間を過ごせたことです。そして、班長会や室長会では担当の先生方の話を真剣に聞くだけでなく、自分たちの意見も出して、より良い修学旅行にしようとする姿が見られ成長を感じることができました。

また、旅館で受けた心のこもったおもてなしも、今回の修学旅行の大きな思い出の一つになったのではないのでしょうか。

そして、今回の修学旅行で何より強く感じたのは、この学年の「雰囲気良さ」です。二日目の夜に行われた「ミニミニ合唱コンクール」。生徒の皆さんが一生懸命に歌う姿に答えるように、学年の教員全員で「高嶺の花子さん」を歌ってくれました。こっそり以前から練習していたようです。これまでの学校生活の中で育まれてきた信頼関係の賜物だと感じました。



【ミニミニ合唱コンクールの様子】



【学年の先生方の出し物】

～千葉県豪雨災害の被災者支援募金～

先日の千葉豪雨ではご存じのとおり甚大な被害に見舞われました。本校でも被災された方々を支援するため、募金活動を行いました。私自身も千葉県北西部に自宅があり、自宅前の道路が膝まで浸水し、翌日には水没した車が、いくつも残る光景を目にしました。印旛沼の決壊など、自然の猛威を肌で感じ、「当たり前の日常は当たり前じゃない」と、強く実感した災害でした。この経験を通して、自分の命を自分で守る「自助」の大切さを改めて考えました。また、家族や近隣の方々と声を掛け合い、助け合う「共助」の大切さも実感しました。日頃から災害への備えを意識し、いざというときに落ち着いて行動できるようにすることが大切です。

本校でも、防災教育や避難訓練を通して、生徒一人ひとりが命を守る力を身につけられるよう努めてまいります。募金活動に協力してくれた生徒の皆さん、保護者、地域の皆様に、心より感謝申し上げます。



【生徒会による募金活動の様子】